

只ちねたてて
の依りあしと一紙平紙のまゝに付入
中平紙の紙を五枚の紙に折
上りて用ひたる正の紙
しるしをまゝに折紙の紙に
まゝに折紙の紙に
三

二
相日

十
也

一
些なつてある紙の紙入

たし紙を
はる紙を
る紙を
る紙を
る紙を

一
ある紙を
ある紙を
ある紙を
ある紙を
ある紙を
ある紙を
ある紙を
ある紙を
ある紙を
ある紙を

世々 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心

竹附紙官

中より 世々 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心

公侯 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心

世々 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心
世々 所存の事 門下 存心

三目

十出

一 守りあふる例便治中あふる
一 守りあふる例便治中あふる

一 守りあふる例便治中あふる
一 守りあふる例便治中あふる

一 守りあふる例便治中あふる
一 守りあふる例便治中あふる

一 守りあふる例便治中あふる
一 守りあふる例便治中あふる

守りあふる例便治中あふる

守りあふる例便治中あふる
守りあふる例便治中あふる

守りあふる例便治中あふる
守りあふる例便治中あふる

守りあふる例便治中あふる
守りあふる例便治中あふる

守りあふる例便治中あふる
守りあふる例便治中あふる

草書

問答

右所錄四條云
此等文字
乃古人之
心法也
不可不
讀也

[illegible]

二

廿三

肉 膳

一、
一、
一、

三十一日

晴

四月廿二日

三月廿九日 晴

三月廿八日 晴

三月廿七日 晴

三月廿六日 晴

三月廿五日 晴

三月廿四日 晴

三月廿三日 晴

三月廿二日 晴

三月廿一日 晴

所

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月廿一日 晴

三月

三

廿

一 歩の歩は
二 武蔵の武蔵
三 武蔵の武蔵
四 武蔵の武蔵
五 武蔵の武蔵
六 武蔵の武蔵
七 武蔵の武蔵
八 武蔵の武蔵
九 武蔵の武蔵
十 武蔵の武蔵
十一 武蔵の武蔵
十二 武蔵の武蔵
十三 武蔵の武蔵
十四 武蔵の武蔵
十五 武蔵の武蔵
十六 武蔵の武蔵
十七 武蔵の武蔵
十八 武蔵の武蔵
十九 武蔵の武蔵
二十 武蔵の武蔵
二十一 武蔵の武蔵
二十二 武蔵の武蔵
二十三 武蔵の武蔵
二十四 武蔵の武蔵
二十五 武蔵の武蔵
二十六 武蔵の武蔵
二十七 武蔵の武蔵
二十八 武蔵の武蔵
二十九 武蔵の武蔵
三十 武蔵の武蔵

一 武蔵の武蔵
二 武蔵の武蔵
三 武蔵の武蔵
四 武蔵の武蔵
五 武蔵の武蔵
六 武蔵の武蔵
七 武蔵の武蔵
八 武蔵の武蔵
九 武蔵の武蔵
十 武蔵の武蔵
十一 武蔵の武蔵
十二 武蔵の武蔵
十三 武蔵の武蔵
十四 武蔵の武蔵
十五 武蔵の武蔵
十六 武蔵の武蔵
十七 武蔵の武蔵
十八 武蔵の武蔵
十九 武蔵の武蔵
二十 武蔵の武蔵
二十一 武蔵の武蔵
二十二 武蔵の武蔵
二十三 武蔵の武蔵
二十四 武蔵の武蔵
二十五 武蔵の武蔵
二十六 武蔵の武蔵
二十七 武蔵の武蔵
二十八 武蔵の武蔵
二十九 武蔵の武蔵
三十 武蔵の武蔵

三

八日

八日
五時板下中夜終に終行しと云里橋
のり年終のり入る中夜は上下

[illegible]

西上西下西中

西上宿丹之公
十三年三月五日

市

皇朝忠臣尚節

三

十二月五日 志社 午 谷 卯 辰

殷燕之求學堂

家
紅子
子
子
子
子
子

大正十一年
 三月
 三日
 三月
 三日

海山先生

三國志卷之六

名臣為印中各健
此張五石五子

七

世之學者多若吾國之利於世

